

平成二十六年六月二日提出  
質問第一九一号

二〇一四年四月二十五日に発表された日米共同声明に関する第三回質問主意書

提出者 鈴木貴子

二〇一四年四月二十五日に発表された日米共同声明に関する第三回質問主意書

本年四月二十三日、アメリカのオバマ大統領が来日され、翌二十四日、安倍晋三内閣総理大臣との会談が行われた。そして更に翌二十五日、両首脳により共同声明（以下、「共同声明」とする。）が発表された。

右と「前回答弁書」（内閣衆質一八六第一七四号）並びに「前々回答弁書」（内閣衆質一八六第一五四号）を踏まえ、再度質問する。

一 「前々回答弁書」並びに「前回答弁書」では、過去に我が国とロシア並びに中国との間で発表された共同声明または「共同声明」という言葉が含まれているもの以外の各種文書において、ロシア語または中国語のみで策定され、我が国側が仮訳を行い、発表されたという事例はあるかとの問いに対し、ロシア語中国語いずれについても、それぞれの言語のみで作成され、我が国側が仮訳を作成したものはないことが明らかにされている。右の理由は何か説明されたい。

二 「共同声明」が、英語によつてのみ策定され、我が国側が仮訳を行ったというのは事実かという問いに対し、「前々回答弁書」では「米国との交渉の結果、英語で作成され、我が国側が仮訳を作成したものである。」とされている。右を受け、前回質問主意書で、「共同声明」以外に、過去に米国との間で発表さ

れた各種文書において、英語のみで策定され、我が国側が仮訳をしたものはあるかと問うたところ、「前回答弁書」では「存在する」との答弁がなされている。過去に米国との間で発表された各種文書において、英語のみで策定され、我が国側が仮訳をしたもの全ての名称を挙げられたい。

三 二の文書に関し、なぜ日英両言語ではなく英語のみで作成され、我が国側が仮訳を行ったのか、それぞれの理由を全て明らかにされたい。

四 「共同声明」について、なぜ日英両言語による作成をしないという結果に至ったのか、その理由を前回答問主意書で問うたが、「前回答弁書」では「米国との関係もあり、差し控えたい。」とされている。外交は国民の理解、支持があつて初めて行えるものであるところ、真実を隠すのではなく、「共同声明」が日本語での作成がなぜなされなかったのか、理由を明らかにされたい。

右質問する。